

2013年3月1日

視認性と操作性が大幅に向上。新 ISO 規格リムにも対応 横浜ゴム、トラック・バス用タイヤ空気圧モニタリングシステム 「HiTES」をリニューアル発売

横浜ゴム（株）は、走行中にリアルタイムでタイヤの空気圧、タイヤ内空気温度が分かるトラック・バス用タイヤ空気圧モニタリングシステム「HiTES（ハイトレス）」をリニューアルして3月15日から発売する。＊「HiTES」は Hi-Technology Tire Engineering System の頭文字

今回のリニューアルではホイールリムに設置するセンサユニットと運転席に設置する表示機を見直した。センサユニットは従来のバンド固定方式に比べて取付けが簡単なバルブ固定方式とし、さらに既存のJIS規格、ISO規格リムのほか、現在の新車大型トラックの新ISO規格リムにも対応するよう2種類をラインアップした。表示機は1.5インチ有機ELパネルから3.5インチ液晶タッチパネルに変更。視認性の向上に加え、タイヤローテーションやトレーラ切り替え作業時の操作ステップを大幅に簡素化した。空気圧などの変化をドライバーに確実に知らせるため、ブザーの発音時間を6段階で調整できる機能も追加している。

「HiTES」はパンクやブレーキ異常発熱の早期発見といった安全対策に加え、適正な空気圧管理による燃費悪化の抑制やタイヤライフの向上、さらにはリトレッドタイヤへの活用などCO₂削減や省資源といった環境対策にも貢献する。また、燃料費の削減やメンテナンスの省力化によるコスト削減を実現する。同商品は様々な車両に対応しており、トラック・バスはもちろん、荷台を付け替えるトレーラにも装着できる。こうした陸上輸送における総合的な環境・社会貢献性が高く評価され、2009年には第6回エコプロダクツ大賞のエコプロダクツ部門で「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」を受賞している。

横浜ゴムは、中期経営計画「グランドデザイン 100 (GD100)」の基本方針のひとつに「トップレベルの環境貢献企業になる」を掲げ、商品開発では環境や社会貢献に関する自主基準を満たす環境貢献商品の開発を促進している。



3.5インチ液晶タッチパネルの表示機

タイヤの内部状況をリアルタイムで知らせる「HiTES」の多彩な表示機能

多彩な情報提供「見える化」を実現

タイヤ空気圧・タイヤ内空気温度が設定した管理値を外れた場合には、運転席の表示機でタイヤの内部状況をリアルタイムにドライバーに知らせます。（※管理値は2段階まで任意に設定が可能です。）

正常		低		
空気圧 ※右記例は、管理値①を800kPa、管理値②を700kPaに設定した場合となります。	<p>正常値の場合：青色 No.1のタイヤ空気圧が915kPaを表示。</p>	<p>管理値①以下の場合：黄色 No.1のタイヤ空気圧が795kPaを表示。</p>	<p>管理値②以下の場合：赤色 No.1のタイヤ空気圧が695kPaを表示。</p>	
	正常			高
	空気温度 ※右記例は、管理値①を85℃、管理値②を95℃に設定した場合となります。	<p>正常値の場合：青色 No.1のタイヤ空気温度が47℃を表示。</p>	<p>管理値①を超えた場合：黄色 No.1のタイヤ空気温度が90℃を表示。</p>	

トラック、バスはもちろん、無線化によりトレーラにも対応

センサユニット
タイヤ空気圧・タイヤ内空気温度を測定。受信アンテナへデータを送信します。

中継機
トレーラ側の情報管理とセンサユニットからのデータを中継します。

受信アンテナ
センサユニットの測定データを受信し、受信機へ伝達。最大2本まで接続可能。車両下側へ設置します。

ロガー（専用メモリ）
測定したデータを蓄積。データは専用ソフトによりUSB経由でパソコンに取り込めます。

表示機
各タイヤの空気圧・空気温度を表示。センサの設定、ローテーション等も行います。

受信機
センサユニットや中継機からのデータを受信し表示機へ表示、ロガーへデータを記録します。

中継機を用いることでトレーラにも対応。後輪タイヤのコンディションもリアルタイムにチェックできて安心です。異なるトラックとトレーラの組み合わせでも、表示機で切り替えが行えます。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：坂本
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570